

## 子どもたちの作品が花開く

石橋文化センターでアートフェスティバルが開催されました。夏休みに公募で選ばれた小学生15人は、4日をかけてアートに挑戦。思い思いに布を染色し、スイレンの花と葉を制作しました。地元アーティスト3人のプロデュースで11月21日まで園内に展示。東国分小2年の小嶺佑介君は「たくさんの方が見るとちょっと恥ずかしい。でも、うれしいな」と作品の完成を喜びました。



子どもたちは、アーティストの皆さんと一緒に自分の作品を探しました

## 道の駅くるめに大型屋根が完成

道の駅くるめ直売館前のイベント広場に大型屋根が完成しました。鉄骨造で、屋根に透過性のある幕材を使用。明るく解放感のある347・2㎡のスペースです。11月20日の落成式では、くるめ農産物PRアンバサダーである俳優藤吉久美子さんの「イベントなどを通して、道の駅くるめからどんな魅力を発信してほしい」というメッセージが披露されました。



屋根があるスペースは、久留米産農産物の販売やさまざまなイベントなどに活用予定です

## 住みやすいまちになるように

11月9日、地域コミュニティ組織の会長を退任した20人に感謝状が贈られました。対象は、コロナ禍で校行事や地域活動の継続が困難な中、住みやすいまちづくりに尽力した皆さんです。鳥飼校区まちづくり協議会の会長を務めた寺崎眞さんは「毎年、災害が発生する中で、支え合うことの重要性を痛感しました。自分を信じ、人を信じてここまでやってこれました」と謝辞を述べました。



受賞者を代表して謝辞を読む寺崎さん（左）。「今後も福祉や人づくりに関わっていきたい」と述べました

## 学生が久留米の魅力を発信

市内の高等教育機関の学生が、市と協働で久留米の魅力発信を行います。学生自らテーマを選定して取材、撮影、記事おこしを担当。食文化や歴史、街並み、イベントなどを市のプロモーションサイトに投稿します。聖マリア学院大学4年の尾畑省悟さんは「取材を通じて地元の良いところを実感できました。これからは、若い視点で知られざる魅力に迫りたい」と話しました。



聖マリア学院大学の3人は、地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題などを取材しました

## 合肥市友好都市 40周年を記念

11月18日、久留米市美術館で中国合肥市と友好都市40周年の記念式典を開催しました。オンラインで日本と中国をつなぎ、両市長がこれまでを振り返りながら祝辞を述べ合いました。合肥市の羅雲峰市長は「国は違っても深い友情でつながっていることを感じています。40年の友情関係をこれからもっと深めて、日中友好の架け橋となつていきましょう」と語りました。



昭和55年5月に友好都市を締結。羅市長とオンライン上で記念品の贈呈も行いました

## スポーツ感覚でまちをきれいに

11月20日、両替町公園で「スポGOMI大会」が開催され、30チーム123人が参加しました。拾ったごみの種類と量をポイント化し、合計点を競います。集まったごみは約68kg。大会は再生可能エネルギーの電源だけで運営しました。優勝チーム「久留米をキレイにフチャミ協力量」の田中希明さん（津福本町）は「久留米をキレイにできて気持ちよかったです」と話しました。



対象エリアは中心市街地。各チーム作戦を練って、行き先のルートなどを決めながらごみを拾いました

## 市公式 SNS で情報発信中

災害や新型コロナなどの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。

 <b>ホームページ</b> 市民の皆さんに必要な行政情報	 <b>ライン</b> 「選べる×届く」お役立ち情報
 <b>ユーチューブ</b> 旬な話題や市長記者会見など	 <b>フェイスブック</b> タイムリーなイベント情報
 <b>くるっば ツイッター</b> くるっばのつぶやき	 <b>くるっばぐらむ</b> 久留米の魅力をゆるっと紹介

※ QR コードは株式会社デンソーウェブの商標登録です

## TV・ラジオで放送中

**KBC テレビ d ボタン**

①テレビでKBCを視聴  
 ②リモコンの「d」ボタンを押す  
 ③市の情報を最大10項目表示

**ドリームス FM (76.5MHz)**

- ・広報くるめラジオ版 (月～金) 8時5分、12時5分
- ・キラリ\*久留米ラジオ (土・日) 9時
- ・知るっば久留米 (木) 12時30分

## 今月の表紙 // 久留米の良さをアピールします



11月8日、久留米市出身のこがけんさん(吉本興業)がくるめふるさと大使に就任。大使就任に合わせてミニライブを行いました。